

平成22年度  
除雪体制に関するアンケート調査  
結果報告書

|      |                    |
|------|--------------------|
| 調査期間 | 平成22年10月1日～15日     |
| 調査対象 | 社団法人 青森県建設業協会 会員企業 |
| 回答数  | 133社（回答率79.6%）     |
| 調査内容 | 別添調査票              |

社団法人 青森県建設業協会

## (社)青森県建設業協会「除雪体制に関するアンケート調査」について

建設業を取りまく厳しい環境は10年以上も続いており、なかでも公共投資額はピーク時の半分以下に落ち込んでおります。青森県内でも、地域の主要道路の除雪と維持管理を担当してきた老舗企業にも破綻するものが現れ、建設企業の体力は限界に達しております。

言うまでもなく本県は積雪寒冷地域に位置しておりますが、地域によって降雪状況には差があります。積雪時に除雪作業に従事する機械のオペレーターや作業員、および現場を管理する技術者は、普段の業務を行いつつ積雪が見込まれる時点から待機し、場合によっては昼夜を問わず作業を実施しているのが現状です。

また、私どもは除雪作業は地域に密着し地域の実情を理解した者が担当しなくては不可能である、と認識しております。

そこで青森県建設業協会は、県内全般にわたっての除雪体制の実情と今後の課題を把握するため、会員企業を対象に「除雪体制に関するアンケート調査」を実施いたしました。

本報告書において、アンケート結果を詳細に分析し、問題点と今後の課題をとりまとめました。今後、関係発注機関との協議・要望の基礎資料としてまいりたいと存じますので、関係各位のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 本県の除雪体制に関する問題点と今後の課題

1. 建設企業のほとんどが何らかの形で除雪作業に携わっており、建設業の厳しい経営環境が除雪作業にも影響を及ぼしている。
2. 自社所有の除雪機械により作業をする割合が高いが、車齢10年以上の機材が大多数を占めている。
3. 自社所有機械についてはメンテナンスによって維持をはかる予定だが、耐用限度を迎えた場合に機材を更新する余裕はほとんどない。
4. オペレーターおよび作業員については、現在は何とか確保できるが、高齢化が着実に進行しており将来的な不安が残る。
5. 除雪作業委託費については採算限界以上（黒字もしくは利益なし）を維持しているが、発注者による差が大きい。
6. 除雪作業を維持するための、待機費用・償却費・整備費等の負担が大きく損益を圧迫している。
7. 除雪作業に関する地域住民の理解が乏しく、クレームが企業に集中している。
8. 以上のような状況を分析すると、除雪機械およびオペレータ等を維持・確保できる今後数年間（5年以内）は何とか作業可能であるが、その後の見通しは全く立たないと言えることができる。

## 「除雪体制に関するアンケート調査」結果

1. 除雪契約の締結先についてお伺いします。（□を✓して下さい。複数回答可）

### 除雪作業契約相手先

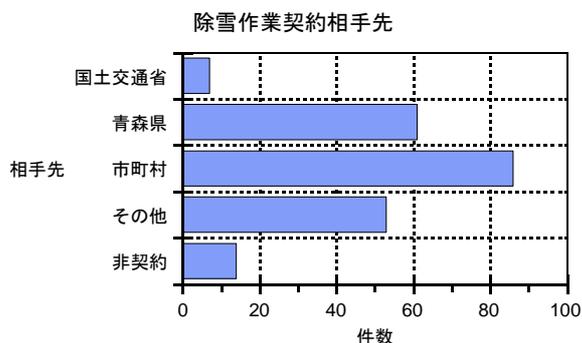
| 相手先       | 国土交通省 | 青森県 | 市町村 | その他 | 非契約 |
|-----------|-------|-----|-----|-----|-----|
| 合計        | 7     | 61  | 86  | 53  | 14  |
| 項目別構成率（%） | 5%    | 46% | 65% | 40% | 11% |

複数契約があるため構成率は100%を越える。

結果分析)

回答133社中119社（89%）が除雪作業をしている。

県内の多くの建設企業が除雪作業に従事している。

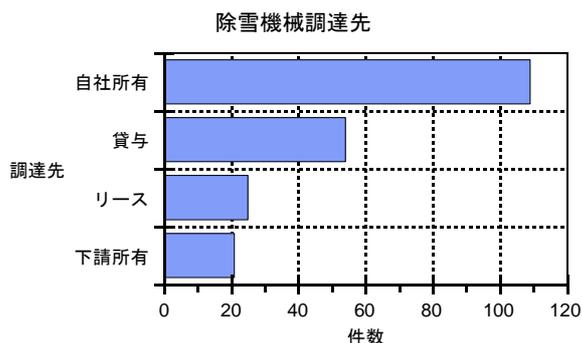


2. 除雪機械の保有状況についてお伺いします。（□を✓して下さい。複数回答可）

### 除雪機械調達先

| 調達先       | 自社所有 | 貸与  | リース | 下請所有 |
|-----------|------|-----|-----|------|
| 合計        | 109  | 54  | 25  | 21   |
| 項目別構成率（%） | 92%  | 45% | 21% | 18%  |

複数調達先があるため構成率は100%を越える。



結果分析)

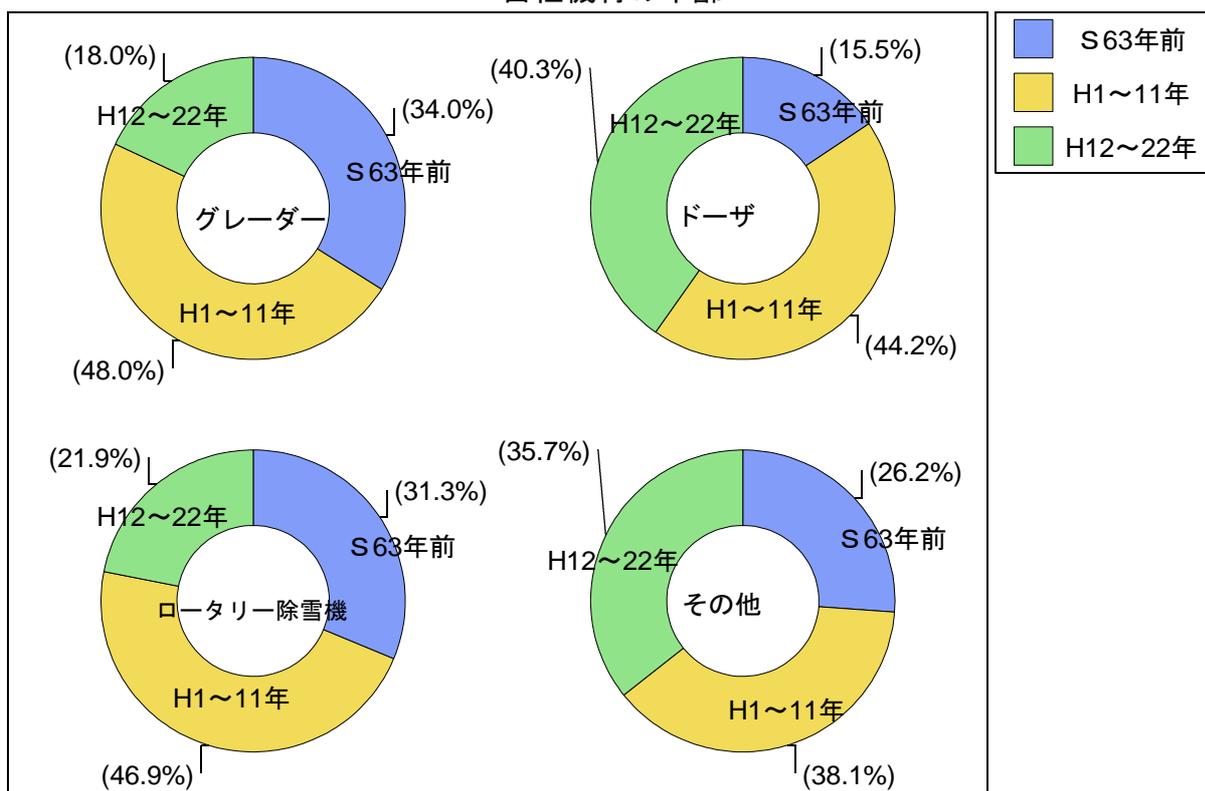
除雪作業に従事する建設企業は、ほとんどが自社で機械を保有している。

3. 自社持ち機械の初年度登録についてお伺いします。(該当する台数を記入して下さい。)

自社機材の車齢

|          | S63年前 | H1～11年 | H12～22年 | 平均保有台数 |
|----------|-------|--------|---------|--------|
| グレーダー    | 34    | 48     | 18      | 1.27   |
| ドーザ      | 32    | 91     | 83      | 1.89   |
| ロータリー除雪機 | 10    | 15     | 7       | 1.23   |
| その他      | 22    | 32     | 30      | 1.58   |

自社機材の車齢



結果分析)

グレーダーの場合：車齢10年以上の機材が82%を占めている。(1社平均1.27台保有)

ドーザの場合：車齢10年以上の機材が60%を占めている。(1社平均1.89台保有)

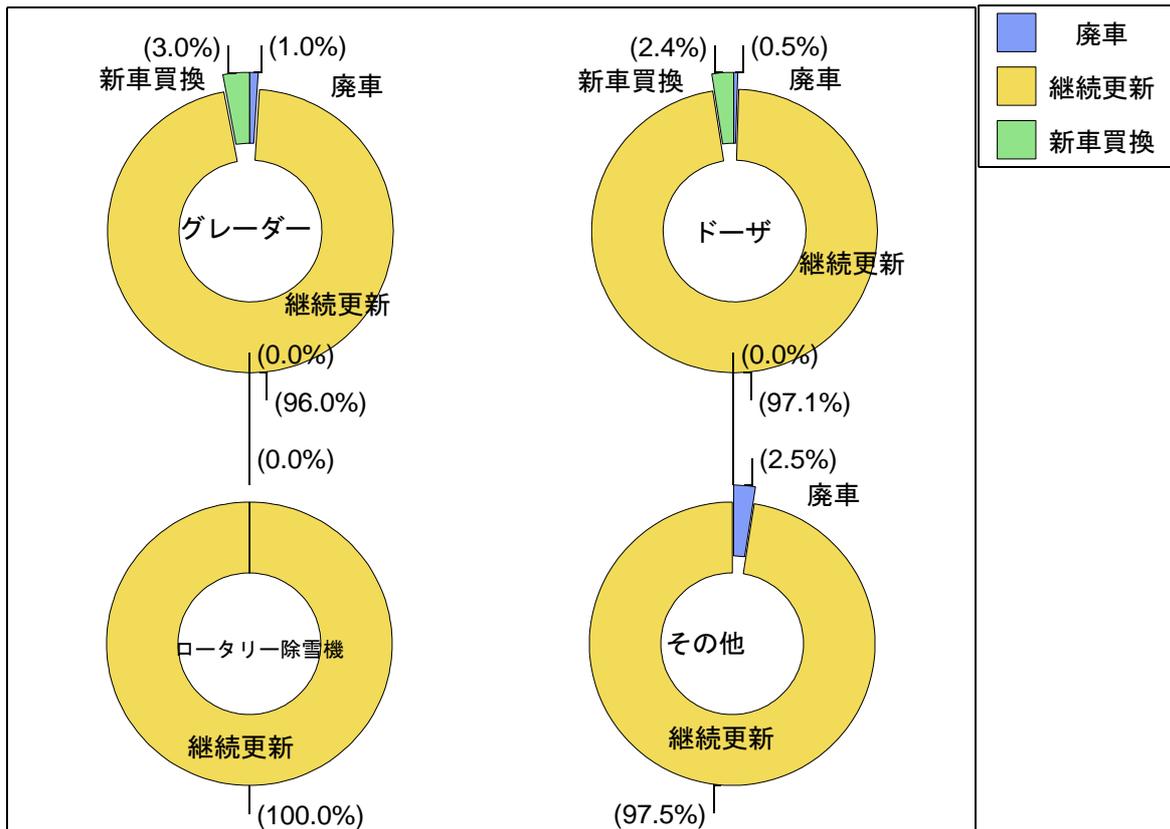
ロータリー除雪機の場合：車齢10年以上の機材が78%を占めている。(1社平均1.23台保有)

4. 上記機種が更新(車検等)の時期となった場合、更新もしくは買い替え等の予定についてお伺いします。

更新時の予定

|          | 廃車 | 継続更新 | 新車買換 |
|----------|----|------|------|
| グレーダー    | 1  | 97   | 3    |
| ドーザ      | 1  | 199  | 5    |
| ロータリー除雪機 | 0  | 33   | 0    |
| その他      | 2  | 79   | 0    |

更新時の予定



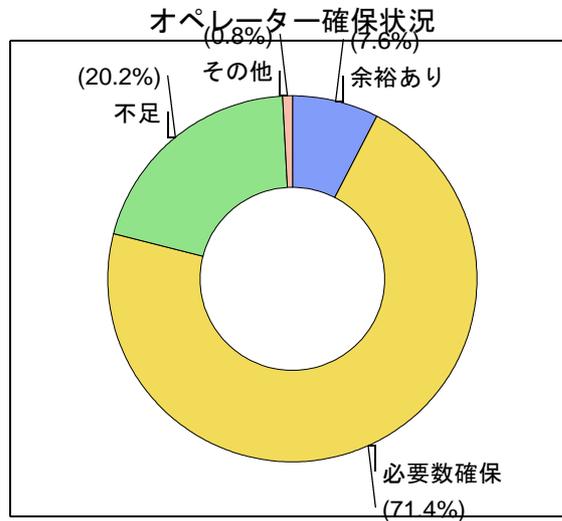
結果分析)

グレーダーの場合：大半が継続更新を予定し、車齢がさらに上がる。(新車買換はほとんどない)  
 ドーザの場合：大半が継続更新を予定し、車齢がさらに上がる。(新車買換はほとんどない)  
 ロータリー除雪機の場合：大半が継続更新を予定し、車齢がさらに上がる。(新車買換はない)  
 上記の回答から、除雪機械全般に関して耐用年数を迎えた後の見通しがないと分析される。

5. オペレーターの状況についてお伺いします。

オペレーター確保状況

|            | 余裕あり | 必要数確保 | 不足  | その他 |
|------------|------|-------|-----|-----|
| 合計         | 9    | 85    | 24  | 1   |
| 項目別構成率 (%) | 8%   | 71%   | 20% | 1%  |



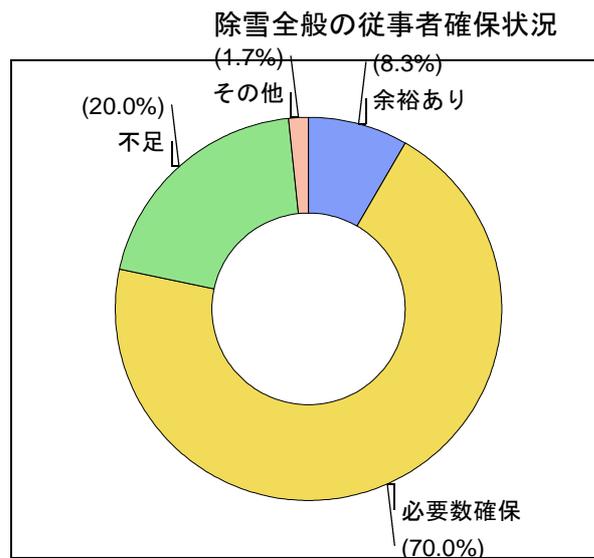
結果分析)

現状では、必要なオペレーターはほぼ確保されているが、不足状況も2割程度ある。

6. 除雪作業全般の従事者の状況についてお伺いします。

除雪全般の従事者確保状況

|            | 余裕あり | 必要数確保 | 不足  | その他 |
|------------|------|-------|-----|-----|
| 合計         | 10   | 84    | 24  | 2   |
| 項目別構成率 (%) | 8%   | 71%   | 20% | 2%  |



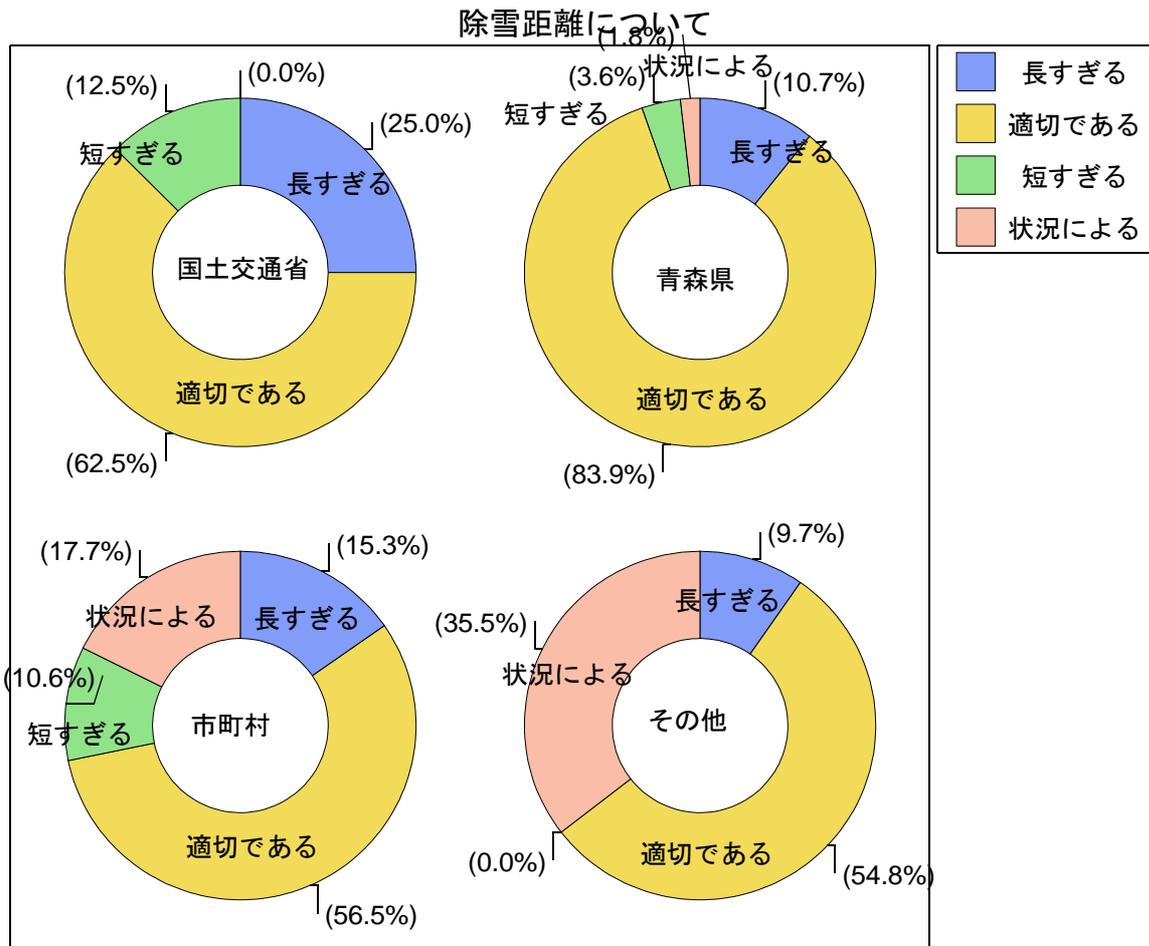
結果分析)

現状では、必要な除雪作業全般の従事者はほぼ確保されているが、不足状況も2割程度ある。

7. 除雪距離についてお伺いします。

除雪距離について

|       | 長すぎる | 適切である | 短すぎる | 状況による |
|-------|------|-------|------|-------|
| 国土交通省 | 2    | 5     | 1    | 0     |
| 青森県   | 6    | 47    | 2    | 1     |
| 市町村   | 13   | 48    | 9    | 15    |
| その他   | 3    | 17    | 0    | 11    |



結果分析)

国土交通省の場合：ほぼ適切な除雪距離だが、長すぎるという回答もある。

青森県の場合：ほぼ適切な除雪距離だが、長すぎるという回答もある。

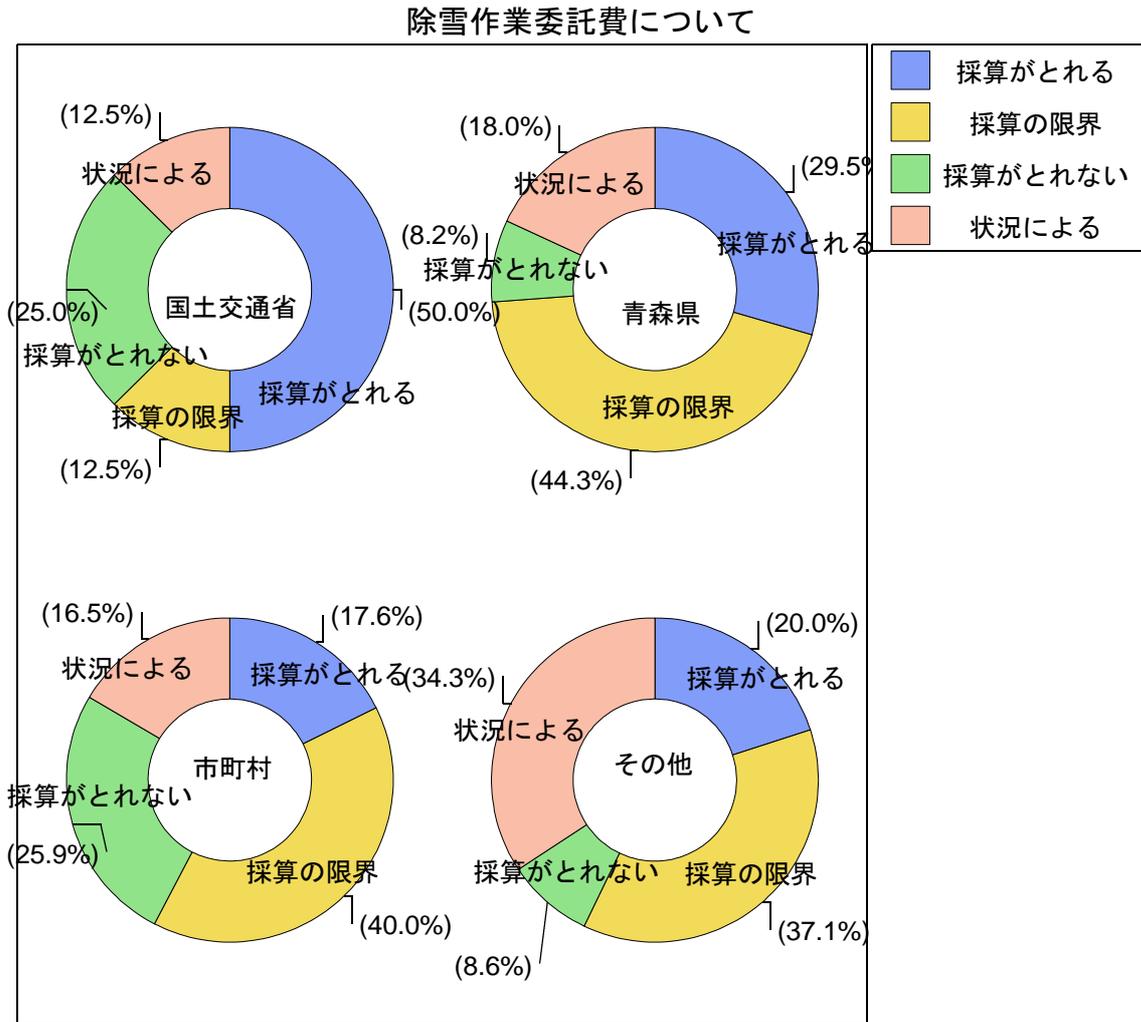
市町村の場合：ほぼ適切な除雪距離だが、状況によるという回答もある。

その他の場合：適切な除雪距離だが、状況によるという回答が多い。

8. 除雪作業委託費についてお伺いします。

除雪作業委託費について

|       | 採算がとれる | 採算の限界 | 採算がとれない | 状況による |
|-------|--------|-------|---------|-------|
| 国土交通省 | 4      | 1     | 2       | 1     |
| 青森県   | 18     | 27    | 5       | 11    |
| 市町村   | 15     | 34    | 22      | 14    |
| その他   | 7      | 13    | 3       | 12    |



結果分析)

国土交通省の場合：半数が採算がとれているが、赤字という回答もある。

青森県の場合：7割強が利益限界以上（黒字が3割、利益限界が4割強）だが、赤字もある。

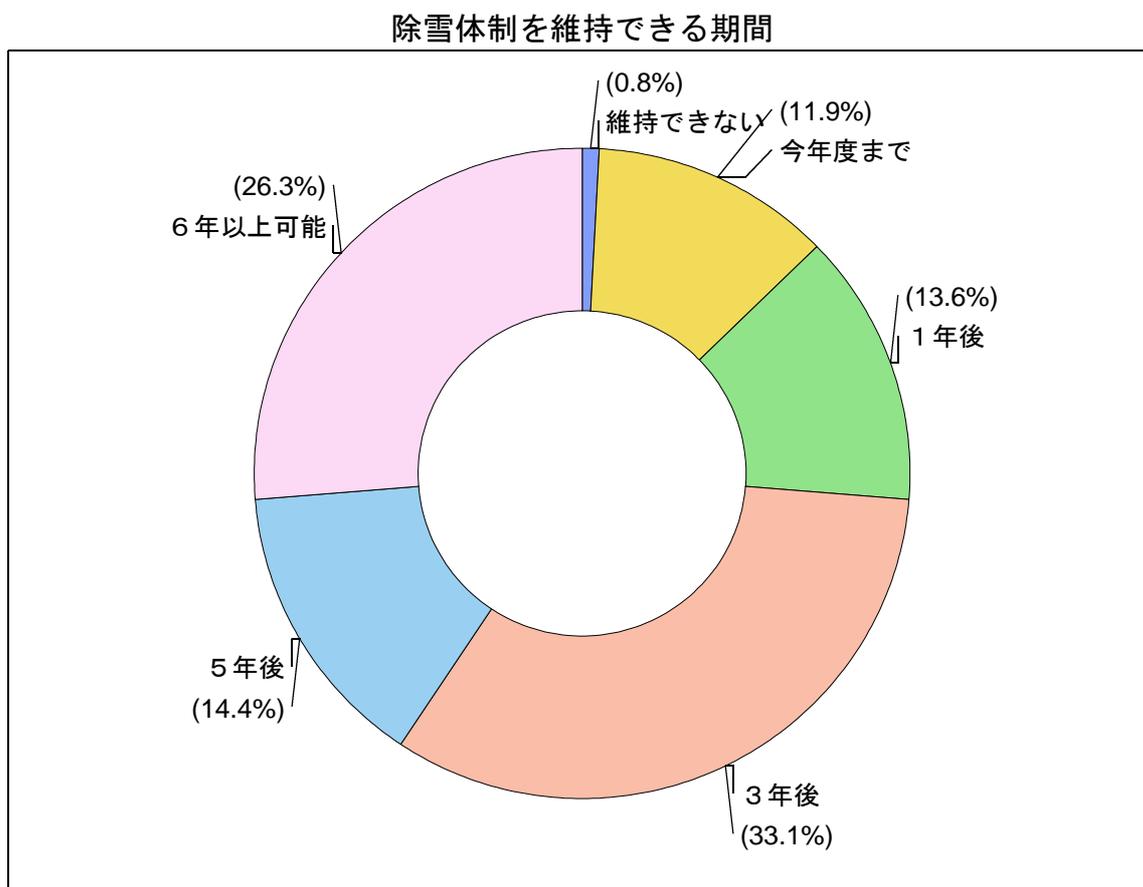
市町村：6割近くが利益限界以上だが、県に比べ赤字の割合が大きい。

その他の場合：6割近くが利益限界以上だが、状況によるという回答が多い。

9. 現在の状況が継続した場合、貴社が除雪体制を維持できると考えられる期間についてお伺いします。

除雪体制を維持できる期間

|            | 維持できない | 今年度まで | 1年後 | 3年後 | 5年後 | 6年以上可能 |
|------------|--------|-------|-----|-----|-----|--------|
| 合計         | 1      | 14    | 16  | 39  | 17  | 31     |
| 項目別構成率 (%) | 1%     | 12%   | 14% | 33% | 14% | 26%    |



結果分析)

全体の4分の1が1年後に除雪体制が維持できなくなると回答している。

全体の半数は3～5年後に除雪体制が維持できなくなると回答している。

残る4分の1は6年以上、除雪体制を維持できると回答している。

上記の回答から、現有の除雪機械が稼働出来る間は除雪体制を維持出来るが、耐用年数を迎えた後は困難であると分析される。

青建発 第 89 号  
平成 22 年 9 月 29 日

(社)青森県建設業協会  
会 員 各 位

(社)青森県建設業協会  
会 長 杉 山 東 幹  
(公印省略)

### (社)青森県建設業協会「除雪体制に関するアンケート調査」について

建設業を取りまく厳しい環境は 10 年以上も続いており、なかでも公共投資額はピーク時の半分以下に落ち込んでおります。青森県内でも、地域の主要道路の除雪と維持管理を担当してきた老舗企業にも破綻するものが現れ、建設企業の体力は限界に達しております。

言うまでもなく当県は積雪寒冷地に位置しておりますが、地域によって降雪状況に差があり、積雪時に現場で従事する作業員や除雪機械のオペレーター、また現場を管理する技術者は、普段の業務を行いつつ、積雪が見込まれる時点からの待機や作業を昼夜問わず実施しているのが現状です。

また私どもは、除雪作業は地域に密着し地域の実情を理解した者が担当しなくては不可能である、と認識しております。

そこで青森県建設業協会は、県内全般にわたっての除雪体制の実情と今後の課題を把握するため、「除雪体制に関するアンケート調査」を実施することといたしました。アンケート結果を詳細に分析し、関係発注機関との協議・要望の基礎資料としてまいりますので、ご協力方よろしくお願い申し上げます。

別添の「アンケート調査表」にご記入いただき 10 月 15 日（金）までに、当協会事務局あてご送付下さいますようお願い申し上げます。

送付先 〒 030-0803 青森市安方 2 丁目 9 番 13 号

TEL (017) 722-7611 FAX (017) 722-7617

(社)青森県建設業協会担当：事務局 山本・八戸

送付は FAX、郵送またはメールにてお願いいたします。

(メール送付先 [info@aokenkyo.or.jp](mailto:info@aokenkyo.or.jp))

メールの場合は当協会ホームページから調査票をダウンロードし上記のアドレスにご送付願います。

## 除雪体制に関するアンケート調査

|         |       |
|---------|-------|
| 支 部 名   | 支 部   |
| 貴 社 名   | 電 話 : |
| 回答ご担当者名 |       |

\* 上記の回答者のデータはアンケート結果の照合・確認等にのみ使用します。  
以下の回答内容は無記名の回答として処理します。

### 調査事項

1. 除雪契約の締結先についてお伺いします。(□を✓して下さい。複数回答可)
  - 国土交通省
  - 青森県(地域整備部他)
  - 市町村
  - その他(降雪時に駐車場・道路等を確保するため、相手と一定条件で出動する契約を  
 交わしている場合。ショッピングセンター、レジャーランド、スキー場等)
  - 契約していない(以降の設問のご回答は不要です。)
2. 除雪機械の保有状況についてお伺いします。(□を✓して下さい。複数回答可)
  - 自社保有
  - 発注機関からの貸与
  - レンタル・リース等
  - 下請け所有

3. 自社持ち機械の初年度登録についてお伺いします。(該当する台数を記入して下さい。)

|          | 昭和63年以前 | 平成元～11年 | 平成12～22年 |
|----------|---------|---------|----------|
| グレーダー    | 台       | 台       | 台        |
| ドーザ      | 台       | 台       | 台        |
| ロータリー除雪機 | 台       | 台       | 台        |
| その他      | 台       | 台       | 台        |

4. 上記機種が更新(車検等)の時期となった場合、更新もしくは買い替え等の予定についてお伺いします。

(該当する台数を記入して下さい。)

|          | 更新せずに<br>廃車とする | 更新(再車検・再検査)して継続使用 | 新しい機械に<br>買い換える |
|----------|----------------|-------------------|-----------------|
| グレーダー    | 台              | 台                 | 台               |
| ドーザ      | 台              | 台                 | 台               |
| ロータリー除雪機 | 台              | 台                 | 台               |
| その他      | 台              | 台                 | 台               |

5. オペレーターの状況についてお伺いします。(□を✓して下さい。)

- 十分に確保している
- 必要人員は確保している
- 不足している
- その他( )

6. 除雪作業全般の従事者の状況についてお伺いします。(□を✓して下さい。)

- 十分に確保している
- 必要人員は確保している
- 不足している
- その他( )

7. 除雪距離についてお伺いします。(該当する項目に○印をして下さい。)

|       | 長すぎる | 適切である | 短すぎる | 状況による |
|-------|------|-------|------|-------|
| 国土交通省 |      |       |      |       |
| 青森県   |      |       |      |       |
| 市町村   |      |       |      |       |
| その他   |      |       |      |       |

8. 除雪作業委託費についてお伺いします。(該当する項目に○印をして下さい。)

|       | 採算がとれる<br>(黒字) | 採算の限界<br>(利益なし) | 採算がとれない<br>(赤字) | 状況による |
|-------|----------------|-----------------|-----------------|-------|
| 国土交通省 |                |                 |                 |       |
| 青森県   |                |                 |                 |       |
| 市町村   |                |                 |                 |       |
| その他   |                |                 |                 |       |

9. 現在の状況が継続した場合、貴社が除雪体制を維持できると考えられる期間についてお伺いします。(□を✓して下さい。)

- 今年から不可能である
- 今年度まで可能である
- 1年後まで可能である
- 3年後まで可能と思われる
- 5年後まで可能と思われる
- 6年以上可能と思われる

10. その他、除雪作業に関わる課題、問題点等について貴社のご意見をお知らせ下さい。  
(ご意見を自由にご記入下さい)

|  |
|--|
|  |
|--|